

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ここっと。ohana		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様が楽しく通所できるようにしている。	お子様の興味・関心に寄り添った「遊び」の時間を充実させることで、自己肯定感を育み、自発的に活動に取り組める環境を整えています。全職員が共通の理解を持ち、一人ひとりの個性に合わせた受容的なコミュニケーションを取るようになっています。	新人職員や異動職員が着任した際も、当施設の「信頼関係を第一とする支援方針」を即座に共有できるよう、役職者間での意識統一を密に行っています。誰が担当しても質の高い、温かな支援を提供できる指導体制の構築を目指します。
2	個別の学習・発達ニーズに寄り添った、就学後支援の実践	宿題支援などの学習サポートについても、お子様一人ひとりの理解度や特性に合わせて実施しています。保育士や教員免許保持者等の多様な視点から、「できた」という達成感を育む関わりを徹底しています。	専門的な視点からのフィードバックをさらに分かりやすくお伝えする工夫を継続します。施設での宿題支援が、学校やご家庭での学習意欲の向上や自信に繋がるよう、保護者様との情報共有や支援方法の検討をより一層深めていきます。
3	お子様の成長段階とご家庭の意向に即した、きめ細やかな個別支援の実践	定期的なモニタリングを通じて、お子様の心身の成長に合わせた支援方法を話し合っています。相談のハードルを下げるため、LINEや電話、送迎時の対話を大切に、深い課題解決が必要な際には個別面談の時間を確保するなど、「心理的安全性」を確保した相談体制を整えています。	送迎等の都合で直接的な接点が限られる保護者様に対しても、連絡帳アプリやLINE等のツールを戦略的に活用し、お子様の小さな変化や喜びを共有し続けます。どんなに多忙なご家庭であっても、繋がりを実感いただけるよう、情報の透明性を高めた連携体制を継続・強化していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育士と児童指導員の在籍で、他の専門療育者がいないこと	会社の人員配置や役職等で全店舗に全ての専門職の配属が難しい。	他の店舗には在籍している為、そこから該当職員にきてもらう、アドバイスを聞くようにする。また時間を確保し話す機会を設けることを検討する。
2	ペアレントトレーニング、保護者会の実施。	保護者会の場を提供するイベント実施などを行っているが周知出来ていない。	モニタリングペアレントトレーニングや保護者会の希望を伺う、場所の提供をする場合には改めて保護者様へ周知をする。必要に応じて情報提供をできるようにする。
3	地域社会および外部専門機関（学校・相談支援事業所等）との多面的な連携体制の不足	施設内での直接支援や個別療育の充実に注力してきた一方で、地域行事への参画や外部機関との定期的なネットワーク構築に充てるリソースが限定的であったため。	希望がある方は情報を聞いて各機関と連携をしニーズを満たせるものを提供するなど関わりを持てるようにする。